

令和6年度 社会福祉法人善心会 事業計画

I. 法人理念と基本方針

1. 法人理念 個別ケアの確立
2. 基本方針 利用者の人格を尊重し、日々の生活支援の場面で配慮する。特に、身体拘束その他利用者の行動を制限する行為は行わないことを基本とする。

II. 令和5年度 法人全体の経営方針・重点目標

1. 経営方針

法人運営に関しては、理事会及び評議員会の開催について、社会福祉法に基づき遅滞なく実行し議事進行・業務報告を行っていきます。

法人の重点目標は、①健全経営 ②地域貢献・地域交流 ③利用者サービスの質の向上 ④人材確保・人材育成 ⑤職場環境改善及び働き方改革実行 ⑥施設内の衛生管理徹底と感染症予防 と定め、職員一丸となり取り組みます。

2. 重点目標

(1) 健全経営

ラックの大規模修繕がひと段落し、開設10年を超えたりんどう建物の修繕の検討を始める時期にきています。その資金調達を目指すうえでも、「資金収支及び損益での黒字決算と安定した資金繰り」と位置付けその達成に取り組みます。各サービス拠点における数値目標を定めその達成に向け各部署への働きかけを行います。具体的には以下の3点について重点的に取り組みます。

① 拠点ごとに定める利用率の達成

- ・ラック・りんどう間のスムーズな申込み（待機）情報共有体制構築
- ・地域福祉関連各所への積極的営業活動・空き情報の提供
- ・地域住民への積極的広報活動（チラシや広報誌の配布、つなぐかふえ）
- ・長期入院や空き部屋があるときの空床利用の検討
- ・小規模多機能事業所の登録定員増加のための取組 など

③ 経費節減

- ・人員体制計画及び新規採用基準の見直し
- ・スマート管理導入や冷暖房使用方法の検討とエコ意識啓発活動
- ・昇給率の検討と人件費比率目標を68%と設定し業務効率を図る
- ・業務の無駄、消耗品の無駄、時間の無駄を見つけ、減らす取組

- ・感染対策各種備品の価格動向を注視し、市場価格に即した仕入れの実現

(2) 地域貢献・地域交流

当法人が拠点を置く安八郡神戸町における社会福祉法人の役割を認識し、高齢者への福祉サービスのみならず、既存施設の地域への開放や情報公開、近隣住民との交流、学校教育への協力などを通じて多角的に地域貢献・地域交流に取り組みます。

また、上記の地域貢献活動や地域連携の各種イベントを企画実行する「つなぐ」活動は、感染対策との両立を検討し実施します。

利用者家族への情報公開や繋がり強化を図るため、利用者家族を対象にした印刷物の発行や、勉強会の開催などを企画実行します。

神戸町認知症地域支援専門員として当法人より 3 名派遣し、認知症地域啓発や地域ぐるみで認知症ケア体制の構築に貢献します。

災害時に地域復興活動の拠点となるよう、非常災害対策計画を策定し、あらゆる災害を想定した準備・訓練を行います。

(運営推進会議)

地域住民や利用者家族、地域福祉関係者等からなる運営推進会議を概ね 2 か月に 1 回開催し、施設運営の課題や地域の要望、町内福祉の現状などについて話し合い、地域との繋がりの中で当法人の役割を理解し、施設運営に反映していきます。メンバーは以下のとおりです（感染対策レベルに応じ、書面開催とする場合があります）。

職名	氏名（敬称略）
民生児童委員会長	戸川 賢一
神戸町区町会副会長	伊庭 克英
神戸町北一色区長	鈴木 栄代
神戸町地域包括支援センター所長	室井 恵子
グループホーム：家族代表	譲 西賢
小規模多機能：家族代表	戸川 義博
特養りんどろ：家族代表	衣斐 浩司
特養ラック：家族代表	石原 章好

(3) 利用者サービスの向上

今や高齢者福祉も選択の時代であり、地域の高齢者及び親族一同、福祉関係者そして行政にいたるまで、当法人のサービスを希望される、あるいは利用を勧めて頂けるためには利用者サービスの向上は必須であります。自立支援、看取り介

護、認知症ケアなどの観点から利用者のニーズに事業所全体で応えていけるよう取り組みます。

厚生労働省が運営する、科学的介護実現のためのデータベース「LIFE」を活用し、リハビリ・口腔ケア・栄養管理・褥瘡管理・排泄支援を強化、一元管理化し、重度化防止に取り組みます。

神戸町福祉避難所に指定されたラックを中心に、災害対策強化を進めます。消防訓練等の充実や、広域災害時の応援職員派遣のための体制整備に取り組みます。

新型コロナウイルス等感染防止のための対策の徹底を図ります。利用者に対し、ワクチン接種を積極的に呼びかけ、集団免疫醸成に努めます。陽性者が出た際の初期対応、まん延防止対策の確立・徹底に取り組みます。

身体拘束廃止・感染症予防対策強化・事故防止に取り組みます。委員会の実施、外部研修派遣、第三者への意見を求めるなどを行い、体制強化を図ります。

(年間行事計画)

各拠点において、利用者の生活がより豊かなものとなるよう、季節感溢れる、また社会との繋がりを体感できる行事やイベントを計画・実行します。利用者の身近な楽しみである食事やおやつも趣向を凝らします（感染対策レベルに応じ、行事の開催方法や開催時期が変更となる場合があります）。

	行事	イベント	食事関連
春	お花見ツアー、菖蒲見学、りんどう祭	西美濃の里音楽発表会 幼稚園小中学校訪問会 追悼法要・子ども会訪問・子ども参観日	手作りおやつ 駅弁シリーズ バイキング（寿司・中華・洋食など） 敬老お祝い膳
夏	七夕の会、敬老会	(ボランティア)	鍋パーティー 豪華おせち料理
秋	運動会、紅葉狩りながら号お出かけラック祭	日本舞踊・朗読・三味線演奏・音楽療法	喫茶コーナー
冬	年始の会、節分ひな祭、温泉ツアー	各種演技・カラオケ傾聴 など	かき氷デー

その他各種団体が行う慰問活動や高齢者向けレクレーションなどに積極的に応募し、入所者の方がその生活に楽しみを感じられるよう工夫します。

(4) 人材確保（人材育成）

別に定めた人員体制計画に基づく職員数の確保に取り組みます。法人離職率

5%以下を目標に定め、定着・育成に重点的に取り組みます。海外人材の受入れと教育に着手します。

また、前項の利用者サービスの向上を確実に達成するため、動画研修を含めた職員研修計画を定め職員個々のレベルアップを図ります。

職員の育成を「ベテラン育成」「中堅者育成」「新人育成」のステージに区分し、外部講師を招いての施設内勉強会や外部研修派遣、委員会活動やOJTなどを育成ツールとして活用します。介護職員の基本的な介護技術の確認研修を行い、介護レベルの全体的な底上げを図ります。

ラックで実務者研修を主宰し、法人にとどまらない介護人材育成に取り組みます。

(5) 職場環境改善及び働き方改革の定着

各事業所において、所定外労働・時間外労働は月平均5時間以下を達成し、今年度も継続します。勤務時間内会議の実現や業務効率化、シフト作成及び勤怠管理ソフトの定着、時間外労働に関する意識改革研修を行うなど、管理職及び指導職の時間外労働月平均15時間以内を目標に掲げて取り組みます。

有給休暇取得率70%を目標に定め、その達成に向け各拠点で取り組みます。

ハラスメント防止規程の周知・啓発、相談窓口の周知、不利益取り扱い禁止の広報などに取り組み、職場内におけるハラスメント防止対策を強化します。

女性活躍促進、次世代育成、育児及び介護と仕事の両立支援に取り組みます。

利用者による迷惑行為対策に取り組み、現場で働く職員が安心して働ける環境を実現します。

介護業務による慢性的な腰痛に悩まされる職員がおります。法人として腰痛の予防に積極的に取り組みます。

すでに定めている「取組宣言」「行動計画」等に即した取り組みを行い、働きやすい職場づくりを推進します。

導入した各種記録の電子化、夜間の見守り支援機器（離床センサー、見守りカメラ、コールシステム）を使いこなせるよう継続的な研修を実施し、事故対応と職員負担軽減に努めます。

(6) 施設内の衛生管理徹底と感染症予防

感染対策委員会を強化し、施設内の衛生管理を見直し、徹底します。

別に定める行動指針、自宅待機基準、面会ガイドラインの活用、見直し、周知徹底を日常的に行います。

黒川胃腸科外科クリニックの発熱外来について職員個々の理解を深め、体調不良時の迅速な初期対応を徹底します。

「善心会レベル別感染対策」を継続し、状況に応じた感染対策を実施します。

発熱時や、感染症が疑われるような症状がある場合の医師との連携を強化し、迅速な初期対応ができる体制づくりに取り組みます。

Ⅲ. 拠点別事業計画

1. 特別養護老人ホーム ラック（地域密着型を含む）

重点目標	拠点目標	指標・成果
健全経営	①利用率 98.5%以上 ②人件費比率 68%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・空床期間減少のための待機者確保 ・水道光熱費の監視、節電活動 ・消耗品の価格調査、適正仕入 ・積極的な各種加算の算定のための取組
地域貢献・地域交流	①介護相談窓口の周知 ②家族との交流 ③「つなぐ」活動 ④施設設備を地域へ解放 ⑤実習生等受入 ⑥災害対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ・法人ホームページ活用、SNS の積極活用 ・利用者家族へのこまめな情報提供体制整備 ・認知症地域支援推進員の派遣 ・福祉人材の育成支援、職場体験・実習等受入 ・BCP の周知と訓練実施 ・福祉避難所としての役割や備蓄の確認・訓練
利用者サービスの向上	①サービスの質の向上 ②家族との連携強化 ③感染対策と利用者満足 の両立	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りケア、認知症ケアの充実と個別化 ・提携歯科と協力し口腔ケアの強化 ・利用者及びご家族からの苦情・要望・意見を集め改善に生かしていく取組 ・身体拘束廃止・感染対策・事故防止強化 ・感染対策しながらのレクリエーション、イベント開催 ・データベース「LIFE」の活用、重度化防止の取組
人材確保 人材育成	①退職者を最小限に ②目標人数の雇用の維持 ③新入職員定着支援 ④職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・海外人材の受入れと教育 ・外部講師を招いての施設内研修（年 8 回） ・法人ブランディング戦略と広報力強化 ・リーダー資質向上、介護技術向上研修 ・実務者研修の主催
職場環境改善 及び働き方改 革	① ワーク・ライフ・バランス実現 法人離職率 5%以下 ②業務改善 ③有給休暇取得率 70% ④時間外労働時間 5H/月	<ul style="list-style-type: none"> ・マネージャーによる組織統治の定着 ・プラチナくるみん、ユースフル企業等認定要件の維持 ・ほのぼの NEXT の定着 ・見守り支援、記録業務の電子化と定着 ・腰痛対策、利用者による迷惑行為対策の実施
施設内の衛生 管理徹底と感 染症予防	① コロナウイルス感染ゼロ ② インフルエンザ感染ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ・各種対策指針、規程の理解と徹底 ・体調不良時の初期対応とフォロー体制の充実 ・感染対応マニュアル見直し、訓練実施 ・感染判明時の事業継続計画の周知・訓練

2. 地域密着型複合施設 りんどう

重点目標	拠点目標	指標・成果
健全経営	①特養利用率 98.5% 以上 ②多機能登録率 80% 以上 ③GH 利用率 98.5% 以上 ④人件費比率 67% 以下	<ul style="list-style-type: none"> ・空床期間減少のための待機者確保 ・多機能登録率目標達成のための取組及び営業 ・水道光熱費の監視、節電活動 ・消耗品の価格調査、適正仕入 ・積極的な各種加算の算定のための取組
地域貢献・地域交流	①介護相談窓口の周知 ②家族との交流 ③「つなぐ」活動 ④実習生等受入 ⑤災害対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ・法人ホームページ活用、SNS の積極活用 ・利用者家族へのこまめな情報提供体制整備 ・感染対策に配慮したつなぐ活動の実施 ・運営推進会議の活性化と職員の積極参加斡旋 ・地元保育園、小中学校、子ども会等との交流 ・実習生の受入体制の整備
利用者サービスの向上	①サービスの質の向上 ②家族との連携強化 ③ 感染対策と利用者満足の両立	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りケア、認知症ケアの充実と個別化 ・多機能サービスの利用範囲拡大 ・提携歯科と協力し口腔ケアの強化 ・利用者及びご家族からの苦情・要望・意見を集め改善に生かしていく体制検討 ・身体拘束廃止・感染対策・事故防止強化 ・感染対策しながらのレクリエーション、イベント開催 ・データベース「LIFE」の活用、重度化防止の取組
人材確保 人材育成	①退職者を最小限に ②目標人数の雇用の維持 ③新入職員定着支援 ④職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策と施設内研修の両立 ・法人ブランディング戦略と広報力強化 ・定年職員の処遇検討・スピーディな補充採用 ・外部講師を招いての施設内研修（年8回） ・指導職3級の意識改革
職場環境改善 及び働き方改革	①ワーク・ライフ・バランス実現 法人離職率 5% 以下 ②業務改善 ③有給休暇取得率 70% ④時間外労働時間 5H ／月	<ul style="list-style-type: none"> ・プラチナくるみん、ユースフル企業認定要件の維持 ・ほのぼのNEXTの定着 ・記録業務の電子化と定着 ・腰痛対策、利用者による迷惑行為対策の実施 ・記録業務の電子化と定着
施設内の衛生 管理徹底と感 染症予防	①コロナウイルス感染ゼロ ②インフルエンザ感染ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> ・各種対策指針、規程の理解と徹底 ・体調不良時の初期対応とフォロー体制の充実 ・感染判明時の事業継続計画を策定、訓練実施